

◆お知らせ◆

2022年度 公益社団法人 日本義肢装具士協会 研修委員会 西日本支部研修セミナーのお知らせ
「熱可塑性プリプレグカーボンで短下肢装具を製作しよう！！～片側支柱付短下肢装具製作法～」

主催 公益社団法人日本義肢装具士協会 西日本支部研修委員会
共催 一般社団法人日本義肢協会 中国・四国支部
後援 一般社団法人日本義肢協会 近畿支部
協賛 阜志会（神戸医療福祉専門学校三田校義肢装具士科OB会）

炭素繊維強化プラスチックの「軽くて強い」という特性と義肢装具への有用性はすでに周知の事です。中でもプリプレグカーボンは樹脂の繊維体積含有率を保ち、より低密度・高比強度を実現できます。

しかし、プリプレグカーボンは、少数の製作所が独自の技術構築で義肢装具への応用を行っているのみで、関心が高まっている反面、具体的な製作方法が分からないという理由で今一つ普及しているとは言い難いのではないのでしょうか。また、従来の熱硬化性プリプレグでは、骨突起部の調整など、完成後の調整ができないなど、アフターフォローの面で、従来の製品より劣る部分もありました。

そこで本年度のセミナーでは、硬化にムラが出にくく、安定した硬化が得られやすい熱可塑性カーボンプリプレグを用いて成形を行うこととしました。熱硬化性プリプレグでは、不可能であった硬化後の調整が熱可塑性プリプレグの場合可能となるため、義肢装具の分野に有益である点が多いと考えられます。座学にて、熱硬化性と熱可塑性の違いを学び、その上で実技を行う予定です。

実技では、熱可塑性プリプレグを用い、片側支柱付き短下肢装具の製作方法を取得することを目的とし、支柱曲げ、プリプレグ積層、プリプレグ硬化、トリミング、組み立てまでを行います。

今回のセミナーに参加することで、熱硬化性プリプレグと熱可塑性プリプレグのメリット・デメリットなどの知識を学ぶことができ、プリプレグを使用したことがない方でも、製作技術を習得することができます。

少人数での開催となりますので、プリプレグに初めて触れる方でも安心して参加して頂けます。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

記

講師：臨床業務にてプリプレグを用い製作を行っている義肢装具士数名を予定しております。

期日：2022年10月22日（土）～23日（日） or 10月29日（土）～30日（日）の2日間（予定）

会場：広島国際大学 東広島キャンパス

定員：10名

参加費：事前登録（会員 140,000 円、購読会員 140,000 円、非会員 280,000 円）

受付期間：2022年6月5日～2022年8月7日

タイムスケジュール（予定）

1日目：座学、支柱曲げ、プリプレグカット、プリプレグ積層、プリプレグ成形

2日目：脱型、トリミング、組み立て、質疑応答

申込方法

右下図の QR コードをクリックまたはタップしていただくことで、参加登録サイトへ接続されます。そこから必要な情報を記入の上、申し込みが可能です。申し込み受付後に参加費の事前申し込みが必要となります。申し込み後に手続き方法を案内致します。

注意事項

- * 本セミナーは申込先着順の受付とさせていただきます。定員になり次第、受付を締め切らせて頂きます。
- * 本セミナーは専用の参加登録サイトのみでの申し込みとさせていただきます。
- * 申し込み開始日前の申し込みは無効となります。
- * 申し込み締め切り以降のキャンセルはできません。当日ご欠席の場合でも参加費を返金することはできません。

セミナー申し込み QR コード



【お問い合わせ先】

公益社団法人 日本義肢装具士協会 研修委員会 西日本支部

セミナー幹事：佐野 太一

E-mail : r4.nishinonshibu.seminar@gmail.com (セミナー問い合わせ専用)